

研究集会：海洋の統合的理解に向けた新時代の力学理論の構築

日時：2026 年 11 月 10 日～11 日

場所：北海道大学低温科学研究所 講堂

運営幹事：大貫陽平（九州大学）、松田拓朗（北海道大学）

所内担当：中村知裕

■ 1 日目：11 月 10 日（火）

13:30-13:40 はじめに（中村）

13:40-14:10 神山翼（お茶大）熱帯と中緯度の境界は Ising 模型で書けるか？

14:10-14:40 原田倫（海洋大）海水-海洋境界の考え方

14:40-15:10 宝迫美央（海洋大）黒潮大蛇行冷水渦の挙動と大蛇行終焉 or 継続メカニズムに関する話

15:10-15:40 北島征弥（北大）南極周極流におけるエネルギー収支と水平解像度依存性

15:40-16:10 岡頭（東大）海洋大循環モデルは温度・塩分の全球観測分布をどこまで再現できるか？

16:10-16:40 天谷友亮（富山大）理想化された温暖化強制に対する日本海のオーバーターニング循環の応答：急激な弱化和長期的な回復のメカニズム

16:40-17:10 岡村悠矢（東大）深海流速観測による近慣性波の伝播特性の考察

17:10-17:40 三寺史夫*（北大）Boundary layer at the ice shelf front
（札幌市内で懇親会）

■ 2 日目：11 月 11 日（水）

9:00- 9:30 寺田雄亮（JAMSTEC）Equatorial Deep Jets の位相伝搬

9:30-10:00 松田拓朗（北大）南極周極流の渦飽和の摩擦依存性

10:00-10:30 藤原泰（神戸大）直接数値計算でみられた風波発達機構の解析

10:30-11:00 古恵亮*（JAMSTEC）低周波沿岸捕捉波に対する惑星ベータの効果

11:00-11:30 浮田甚郎*（新潟大）Applications of orthogonal invariant sets

11:30-12:00 島田浩二*（海洋大）粘着境界条件下における有界エクマン層とエクマン輸送

12:00 おわりに（大貫）

（研究所内にてランチ懇親会）

<共同研究計画立案打ち合わせ>

11 月 10 日 10:00-12:00 講堂

※ 備考

発表時間は前後する可能性があります。

*の印の付いた方は、発表時間を短縮していただく可能性があります。